

## 青少年の健全育成へ ライオンズクラブから寄附



寄附金を手渡す代表の堀公二さん（写真右）

9月25日、旧4町の柏原・氷上・山南・春日のライオンズクラブ（4R・1Z）が青少年の健全な育成のため、市に寄附をしました。

代表の堀公二さんは「市内クラブが1つになって取り組んだ。メンバーが減少する中、弾みになれば」と経緯を説明。市長は「大変ありがたい。しっかりと役立てる」と応えました。

## 寿100歳・88歳 おめでとうございます

市では、毎年9月15日を基準日に、最高齢者・100歳・88歳の節目を迎える皆さんに長寿祝金を贈呈しています。

今年は、100歳（18人）、88歳（503人）の計521人に長寿祝金を渡しました。9月19日には100歳を迎えた芦田トクエさんを市長が表敬訪問しました。長寿の秘訣は、自分のことはできる限り自分で行うことと話されました。



市長とともに記念撮影をする芦田トクエさん（写真左）とご家族（写真中央）

## 標柱を建立 非核平和都市宣言

9月26日、丹波市の非核平和都市宣言が行われました。その象徴として市役所本庁舎前に「非核平和都市たんば」の標柱が建立されました。

戦後70年が経過しても、武力による局地紛争の絶えない世界情勢の中で、市長は「人類の共存と繁栄、郷土の平和と発展を願い、世界の恒久平和の実現をめざす」と力強く宣言しました。



非核平和都市の標柱を除幕する関係者たち

## 非常用男性トイレ 災害時に役立つ寄贈



目録を渡すトキハ産業（株）代表取締役の藤川龍磨さん（写真右）

9月20日、トキハ産業株式会社が市に非常用の男子トイレ20セットを寄贈しました。組み立て式で水を使用せず、災害時などに役立ちます。

代表取締役の藤川龍磨さんは「工場を新設して6年が経ち、市のために何かできないかと考えた。災害時に役立てて欲しい」と説明。市長は「貴重なものを寄贈いただいた。災害に備えて大切に保管する」と応えました。

## 農業を学び 新たな担い手となる みずのよういち 水野陽一さん vol.12

経歴：兵庫県明石市出身。介護職として、介護施設に勤務。人に関わる仕事から一転農業へ。農業振興課 ☎ 74 - 1465



幅広い経験を糧に、任期中に自分がやりたい農業を見つけて将来の計画を立てたいです。三百六十五歩のマーチのように3歩進んで2歩下がることもあるでしょうが、確実に前進して頑張りたいと思います。私を見かけた際には、声掛けやアドバイスをよろしくお願ひします。



水稻の作付け前の草刈りをする水野隊員



はじめまして。4月から地域おこし協力隊として、農業の新たな担い手育成や課題を解決する活動をしている水野陽一です。市の非常勤一般職員として週5日勤務し、農業実習と事務の2つの仕事をしています。週の3～4日は農業、週の1～2日は職員として働く「半農半公」という仕事スタイルです。

7カ月で知人ができ、地元の人しか知らない情報に触れる度、しばしば驚きや感動を覚えます。現在は、市内の農家さんから農業指導を受けながら、少しずつ農業の難しさや醍醐味、楽しさを学んでいます。水稻の育苗・田植え・稲刈、季節野菜の栽培・収穫、特産品の山の芋・小豆などの植付け、加工食品の実習など多くの経験・勉強をしています。

## 市長コラム 丹波語り

### 慎独のすすめ



「先生、明日からは【慎独】しまーす！」夏休み前の終業式の日、養父市立宿南小学校の子ども達の言葉です。宿南地区では、江戸時代の末期、明治時代初期に、学者池田草庵が私塾「青蹊書院」を開いていました。草庵は、次代を背負う若者の教育に尽力。全国から600人を越える若者が集まり、東京帝国大学総長、国立銀行頭取、文部大臣など、多くの偉人を輩出しました。同時期に柏原で藩校の指導者だった小島省齋は草庵と親交があり、多くの書簡が残っています。藩校からは政治家の田艇吉、田健治郎兄弟などが巣立ちました。青蹊書院の床の間には【慎独】の額がかかっています。【慎独】とはどういう意味でしょうか。広辞苑では「自分ひとり、他人のいない所でも、身を慎むこと」と。同小学校では【慎独】を校是として、草庵の教えを説き、意識の定着を図っています。また、毎月1回は「草庵の日」としてゲームをしないことを誓っています。不思議に思うのは、草庵は難解な学問を教えていないのに、多くの偉人が育ったことです。草庵は知識を行動に移すべしという「知行合一」を説いたとされます。明治維新という大変革期に新時代を切り開く「実行力」を植えたのです。結局、若者は「志」さえあれば、自分で学び、歩き始めるのではないか、と思い至りました。私たちも【慎独】を胸に、日々新たな知識を得て、行動に移すことを心がけたいものです。



丹波市長 谷口進一